

北海道・東北予選会の新型コロナウイルス感染防止対策について

出場校の指導者の皆様へ（お願い）

青森県高体連フェンシング専門部
(一社)青森県フェンシング協会

1. 大会前に新型コロナウイルス感染者が出た場合について

大会会場【スポカルイン黒石】のホームページに「新型コロナウイルスの感染が確認された学校・事業所に所属している方のご利用は、同じ学校・事業所内で新たな感染者がなく3週間を経過するまでご遠慮いただきますようお願い申し上げます。」と告知されています。もし該当するような事例が発生した場合は、速やかに青森県高体連フェンシング専門部委員長坪俊彦までご連絡ください。
(電話0175-22-1184 田名部高校)

2. 無観客試合について

今回は北海道・東北高体連フェンシング専門部両者で協議した結果、無観客試合となりました。各校顧問は、保護者への周知徹底をお願いします。また(一社)青森県フェンシング協会(以下「当協会」)ホームページ <https://www.fencing-aomori.com> においても告知します。当日会場に訪れた一般客については、丁寧に観戦をお断りします。

試合観戦のできない保護者向けに、当協会ホームページ上で、1月23日(土)午前10時以降、1時間ごとに大会の結果の速報を行います。

3. コロナ感染防止対策（入館時）

(1) 1月22日(金) 午後1時から随時受付します。管理棟入り口からは入場できません。メインアリーナ入り口をご利用ください。 玄関で受付をします。

①「健康チェック票」の記入と非接触型体温計で検温をお願いします。サーモグラフィー1台も設置されていますので、ご利用ください。

②「新型コロナウイルス感染防止について(お願い)」を配布しますので、選手に一読させてください。

③一度入館した方で外出を希望される方は、受付で「外出証明書」を受け取り、戻ってきた時に「外出証明書」をお返しく下さい。入館時には、ご面倒でも検温をお願いします。

(2) 1月23日(土)と24日(日) 午前8時から道県ごとに、一斉に受付を開始します。

①学校名と氏名を名乗って、検温をしてください。また体調の変化の有無を質問しますので、必ず申告してください。前日に記入していただいた「健康チェック票」の2日目と3日目の欄に、受付係が体温を記入します。混雑を防止するために、受付係は道県ごとに配置しています。

②入館に際しては、マスク着用と手消毒を徹底してください。マスクを忘れた選手・指導者のために予備マスクを準備しています。

《主催者側の対応》

※1日目の受付は3名で対応する。2・3日目の朝は、各8名で対応する。

※指導者・選手から提出された「健康チェック票」を7道県ごとにフラットファイルに綴じる。また大会関係者（役員、審判、来賓等）のファイルも用意する。従って計8ファイル。

※開・閉会式に参加する市関係者についても、検温の上、健康チェック票の提出を義務付ける。

※外出者についても、再入場の際に検温を義務付ける。

4. コロナ感染防止対策について（大会全般）

（1）会場内では

- ①マスクの着用を義務付けます。選手も試合時以外は、マスクを着用させてください。
- ②会場内での大きな声での応援、近接した距離での会話は慎んでください。
- ③会場は、適宜に換気します。

（2）トイレ・洗面所では

- ①1Fアリーナ内トイレに、当協会が独自に薬用石鹸とペーパータオル、手消毒液を置きます。ご利用ください。ごみについては、備え付けのごみ箱に捨てて構いません。
- ②1F ステージ脇の役員用トイレも同様とします。
- ③1F 役員控室も同様とします。

（3）ギャラリー(観客席)では

- ①道県ごとに、座席を指定します。間隔を空けて座らせてください。
- ②ギャラリーで飲食して構いません。こまめな手洗い、手消毒をお願いします。周囲の人とできるだけ距離を取って、対面を避け、会話を控えさせてください。
- ③ギャラリー手すりの前に整列し、大きな声で応援することは慎ませてください。

（4）試合では

- ①ベンチの座席は、できるだけ距離を空けて配置しますので、ソーシャルディスタンスを心掛けさせてください。
- ②審判器を設置しているテーブルの上にも、手消毒液を置いています。ご利用ください
- ③選手同士の握手やハイタッチは控えさせてください。試合後は握手の代わりにお互いの剣を合わせてください。

（5）ごみの処理について

- ①昼のお弁当の空き箱は、業者が回収します。
- ②一般ごみについては、館内のごみ箱に捨てずに持ち帰り、ホテルに処分をお願いしてください。なお、最終日については、持ち帰ることができない場合のみ、当協会にご相談ください。

《主催者側の対応》

※予備マスクを準備する。

※降雪期ではあるが、適宜に非常口を空けて喚起する。会内の換気装置も利用する。

※トイレのごみの集積状況の確認と手洗い石鹸・ペーパータオル等の補充

5. 大会期間中に、もし疑われるような症状が出た場合は

（1）帰国者・接触者相談センターに連絡してください

弘前保健所 0172-33-8521

（2）大会本部にお知らせください。（監督会議時に、連絡先をお知らせします。）